

議会だより

# えりも

No.5

平成25年5月1日

平成25年度予算徹底検証	2P
3月定例町議会の概要	4P
一般質問 介護施設等の整備について	6P
議員と語る会	11P

# 一般会計の予算総額は 40億6000万円

## 底検証

### 基盤・整備

新浜団地1号線改良舗装工事 3,869万円  
 公営住宅整備事業 1,930万円  
 教員住宅建設工事 3,004万円  
 森林基幹道えりも線改修事業 1,150万円  
 道路整備事業 1,500万円  
 えりも港湾整備事業 4,950万円

**教員住宅建設事業**  
 築後40年が経過し老朽化が激しい教員住宅について、その建替えを計画的に実施する。平成25年度は本町地区の1棟2戸の建替えを実施する。

**公営住宅整備事業**  
 平成16年度から平成27年度までの事業期間で、大和地区の公営住宅を整備する。国の補正予算により新築工事を平成24年度に前倒ししたため、平成25年度予算では屋根防水工事や外壁塗装工事などを実施する。



建て替えが予定されているえりも小学校裏の教員住宅

**森林基幹道改修事業**  
 森林基幹道えりも線に係る改修事業（道営事業）で平成25年度は橋梁や護岸の改修を実施する。事業期間は平成24年度から平成29年度までの6年を予定。

**新浜団地1号線改良舗装**  
 老朽化が進んでいる本路線の改良舗装を平成26年度までの2か年計画で実施し当該地区住民の生活環境の改善を図る。

### 生活・環境

災害対策関連事業 705万円  
 目黒小型ポンプ車購入 1,281万円  
 エゾシカ被害対策事業 2,122万円  
 住宅改修工事等補助金 600万円  
 児童遊園遊具修繕 124万円  
 バス停改修工事 147万円

**防災・災害対策関連事業**  
 既に運用を開始しているエリアメール送信事業に主要2通信業者（au・ソフトバンク）を追加。また、えりも岬地区防災倉庫の新設、毛布や小型ストープなどの災害用備品や備蓄用食糧の購入を計画的に実施する。

**小型ポンプ付積載車購入**  
 目黒地区（第7分団）に配置されている小型動力ポンプ付積載車の更新を実施し地域の防災力向上を図る。



平成26年9月の車検切れで廃車予定の第1分団の積載車

**Q** 災害用備蓄食料の更新の際、古いものはどのように処分するのか？  
**A** 備蓄食料の消費期限は5年間。避難訓練時に使用したり自治会に払い下げる予定。

**Q** 目黒のポンプ車と積載車の処分方法は？  
**A** 目黒の積載車は歌別に、歌別の積載車は本町で使用する。目黒のポンプ車は当面、岬の予備として配置し、来年秋の車検切れをもって本町の積載車とともに廃車となる見込み。

# 予算特別委員会

# 平成25年度予算概

## 産業・観光

- スマッピースタンプ会補助金 170万円
- 移動式店舗購入 100万円
- 地域資源保護事業 160万円
- 水産環境整備事業 3,355万円
- 漁場管理レーダー鉄塔改修 900万円
- 地域資源保護事業 160万円

**スマッピースタンプ会補助**  
スマッピースタンプカード発行用端末機が老朽化により更新時期を迎えたことから、その経費の一部を助成し地元購買力の確保と町内商店の利用促進を図る。

**移動式店舗購入**  
イベント時にご飯を提供するためには様々な制約があることから、これらを解消する方策として、移動式店舗を購入し各種イベントの食の充実を図る。



ご飯ものの提供に使用される移動式店舗

**地域資源保護事業**  
おひたしや和え物として珍重される百人浜で自生している浜防風が乱獲により減少していることから、有用な地域資源となるよう飛砂防止対策と併せて保護活動を実施する。

**日高王国協議会負担金**  
平成21年度から浦河町と類似町の共同で開始された第一次産業の民泊体験事業について平成25年度からは町も本格的に参画し、道外からの修学旅行生の受け入れを実施する。

## 保健・福祉

- すこやか赤ちゃん誕生祝金 180万円
- 子育て世帯医療費支援 1,013万円
- 高齢者通所費扶助 205万円
- 特別支援学校就学者交通費補助 138万円
- 浦河赤十字病院増改築補助金 1,049万円
- 保健師看護師奨学資金貸付事業 60万円

**すこやか赤ちゃん誕生祝金**  
出生1名につき3万円相当を現金または商品券により助成し、育児経費軽減と町内商店の活性化を図る。

**子育て世帯医療費支援**  
中学生以下の医療費の一部相当額を商品券で助成することにより子育て支援と町内商店の活性化を図る。

**高齢者通所費補助**  
浦河町の福祉施設に通所する65歳以上の方を対象にその費用(タクシー代)の一部負担を実施する。



議会では誕生祝金の少子化対策としての効果が疑問視された

**Q** 誕生祝金は一子二子三子と金額に差をつける方が人口増加政策という事を強くアピールできるのではないか？

**A** 今回は赤ちゃんの誕生を等しくお祝いするという趣旨のため一律とした。

**Q** 医療費補助を行うことにより風邪などの軽い症状や時間外の診療が増え、医療費増や医療スタッフの負担増につながるのではないか？

**A** そのようなことにはならないと考える。町民の良識を信頼したい。

# 3月定例町議会

## 補正

公営住宅建設事業費

1億8000万円

簡易水道建設費

886万円

平成25年度に予定されていた事業ですが、「地域の元気臨時交付金」という国の補正予算が組まれたため、平成24年度に前倒しで行うものです。予算の執行は平成25年度に繰り越して行われます。

### 地域の元気臨時交付金とは？

内閣府が平成24年度補正予算案に計上した「地域の元気臨時交付金」（地域経済活性化・雇用創出臨時交付金）は総額1兆3980億円です。

政府は経済対策となる公共事業が、財政状況の厳しい地方の負担抛出により消極的になっていくとして、新たに今回限りの特別措置として地方負担を軽減する仕組みを立ち上げました。

ほぼ同様の仕組みが平成21年4月の麻生内閣「経済危機対策」に基づく平成21

年度補正予算で創設した「地域活性化・公共投資臨時交付金」（総額1兆3790億円）がありました。

当時、えりも町に5080万円が交付され、一部を基金化し公営住宅や町道の整備等に充当されました。

今回は1億2000万程度交付されると予想しています。

新年度以降予定していた建設事業について同交付金を活用したことにより、支出を予定していた一般財源分を他の事業、福祉サービス充実など、ハード以外の要求実現の財源として活用

することも可能となります。「地域に元気」を与えるのが目的の交付金であり、町民の積極的な要求運動と町の創意工夫が急がれます。

町は国からの交付限度額実施計画の策定の通知があり次第、事業を選定し計画を策定する予定です。

※国の平成25年度予算が国会を通してないため（5月中に成立予定）補助対象事業についてもまだ確定しておりません。今後補正予算等で追加計上されます。

議件番号	議 件 名
選挙第2号	日高東部衛生組合議会議員の選挙
報告第8号	定例出納検査結果報告
議案第26号	障害者自立支援法の一部改正に伴う関係条例整備条例制定
議案第27号	えりも町インフルエンザ等対策本部条例制定
議案第28号	えりも町一般廃棄物処理施設の技術管理者資格条例制定
議案第29号	えりも町地域密着型介護予防条例制定
議案第30号	えりも町指定地域密着型介護条例制定
議案第31号	えりも町道路構造条例制定
議案第32号	えりも町高齢者等移動円滑化促進条例制定
議案第33号	えりも町公営住宅等整備条例制定
議案第34号	えりも町準用河川管理施設等構造条例制定
議案第35号	災害対策基本法一部改正に伴う整備に関する条例制定
議案第36号	えりも町教育行政評価委員会設置条例制定
議案第37号	えりも町非常勤特別職の報酬に関する条例の一部改正
議案第38号	えりも町教育委員会教育長の給与に関する条例の一部改正
議案第39号	えりも町廃棄物処理条例の一部改正
議案第40号	えりも町診療所医師の給与に関する条例の一部改正
議案第41号	えりも町公営住宅条例の一部改正
議案第42号	えりも町港湾管理条例の一部改正
議案第43号	えりも町簡易水道条例の一部改正

議件番号	議 件 名
議案第44号	えりも町下水道条例の一部改正
議案第45号	えりも町集落排水条例の一部改正
議案第46号	平成24年度一般会計予算の補正
議案第47号	平成24年度国民健康保険特別会計予算の補正
議案第48号	平成24年度簡易水道特別会計予算の補正
議案第49号	平成24年度診療所特別会計予算の補正
議案第50号	平成24年度下水道特別会計予算の補正
議案第51号	平成25年度一般会計予算
議案第52号	平成25年度国民健康保険特別会計予算
議案第53号	平成25年度簡易水道特別会計予算
議案第54号	平成25年度診療所特別会計予算
議案第55号	平成25年度下水道特別会計予算
議案第56号	平成25年度介護保険特別会計予算
議案第57号	平成25年度後期高齢者医療特別会計予算
議案第58号	日高東部障害者程度区分審査会規約の変更に係る協議
発議第3号	えりも町議会委員会条例の一部改正
発議第4号	えりも町議会会議規則の一部改正
同意第4号	えりも町公平委員会委員の選任
意見書案第2号	平成25年度地方財政対策に関する意見書
承認第19号	所管事務調査

(補正続き)

下水道本町ポンプ所修繕料  
79万円

電気室の鉄扉等が津波被害等の影響もあり劣化。修繕を行うと共に、弱い部分のガラス窓をスチールで覆うなど津波対策の強化も同時に行いました。

### 教育行政評価委員設置条例

教育行政評価について学識経験者の知見を活用することを目的とし3名以下の評価委員(非常勤特別職)を設置します。

教育委員会は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行いその結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務づけられています。

### 新型インフルエンザ等 対策本部条例

新型インフルエンザ等対策特別措置法の施行に伴い、新型インフルエンザ等への実効的な対応体制を確保するため、国、地方公共団体、事業者及び国民に新型インフルエンザ対策に対する責務が求められます。

本条例は対策本部の設置に關してのみですが、今後、行動計画の策定や特定接種の実施などが順次整備されます。

一般廃棄物処理資格条例  
地域密着型介護予防条例  
道路構造条例  
高齢者移動円滑化条例  
公営住宅整備基準条例  
河川管理施設構造条例  
災害対策基本法条例

### 人専

地域主権一括法の改正に伴い各地方自治体において条例で定めることとなったための条例制定です。

### 公平委員の選任

盛 孝雄 氏(63歳)  
任期満了による再任

公平委員会とは？

簡単に言うと、町の職員が納得できないペナルティー(罰)を町長等から与えられた時、物申すことのできる救済機関です。

・職員の給与、勤務時間、その他の勤務条件に関する措置を審査・判定し、必要な措置をとる事。

・職員に対する不利益な処分についての不服申し立てに対する裁決または決定をする事  
・職員からの苦情相談等を処理する事などです。

# 予算審議を終えて

予算特別委員長  
上野 勝廣



昨年12月26日、自民・公明両党主体の新政権が発足し、3か月が経過いたしました。

申し上げるまでもなく、政府と地方自治体は一体となった連携の状況にあり、今後どのような政策に移行するのかがかりなところであり、徐々に見えてきています。

とりわけT P P参加表明は、一次産業主体の当町にとって大きな関心事であります。特に、地方交付税に依存度の高い当町にとって、現況の交付税の減少は厳しいものがあります。

このような中であつての新年度の予算編成作業は、情報収集など大変厳しい作業であつたと思つています。一般と特別の7会計の審査を付託された委員会の委員長

に選任され、重要な案件の審議でありましたが、委員・理事者・説明員のご協力を賜り、無事、全会計の審議を終りましたことに感謝申し上げます。

予算も減少傾向にある厳しい中で、現状を維持しながら産業の復興を始めとし、次代を担う子供の育成支援策など、当町が推進すべき諸問題に配慮しながらの審議でありました。審査の中で、それぞれ建設的な意見や指摘がありましたことを十分踏まえていただき、更に、本予算が町民皆様のご理解と、協働参加によりまして最大の予算効果の上に、えりも町に住んで良かったと思える「安心・安全で快適なまちづくり」ができますことを祈念し、結びといたします。

### 特別職給与条例

町長、副町長並びに、教育長の期末手当の独自削減を3年間延長。

### 診療所医師給与条例

平成25年度給与月額

所長 124万円  
副所長 113万円

月額給与は増額。期末手当並びに勤勉手当計算率は引き下げ。

# 一般質問

## 成田一人議員



### 福祉

#### 介護施設等の整備について

老人ホーム待機者解消につながる取り組みは

「ケアハウスいずみ」の介護機能を高める

**問** 成田議員 本町の平成24年度から3か年の「高齢者福祉・介護保険事業計画」の中には、将来的な見込みとして、「町全体の人口は減少、高齢化率は上昇、要介護の認定者数は270人くらいで横ばい」とあります。つまり、介護の必要な人は減らないということであり、在宅サービスの充実とともに、施設の整備についても早急に取り組む必要があると思われる、次の2点について質問いたします。

①特別養護老人ホームの待機者数は。  
②特養の待機者解消につながる介護施設の整備についての具体的な方策は。

**答** 保健福祉課長 ①やまと苑入所希望者は43人です。  
②特別養護老人ホームの建設には、財政的にも運営の面でも克服すべき課題が多く、また、特養の増床にも、やまと苑の既存の施設を定員増に対応させるべく改修が必要となり、多額の経費がかかるという課題がありますので、第3の方策として、町の施設である「ケアハウスいずみ」の介護機能を高めるといことが、現実的な選択肢ではないかと考えています。第一段階として、職員の見守りや介助とともに、ヘルパー等の在宅介護サービスを積極的に取り入れる運営を行

い、同時に、いずみは個室で整備されていますので、消防設備等をしつかり備えるという条件をクリアすることで、介護保険が適用される施設へと転換できる可能性があります。こうした既存設備の活用と特養の増床とを比較しながら、私たちのまちにとってどのような介護サービスが望ましいのか、来年度の新たな介護保険事業計画の策定段階で審議していきたいと考えています。

ただし、これには65歳以上のかたの介護保険料が上昇するといった副作用もでてきますので、町民の皆様のご意見をお聴きしながら慎重に進めていきたいと思



介護機能の強化が図られるケアハウスいずみ

**答** 企画課長 新エネルギーの取り組みについては、エネルギーの安定供給や温暖化対策を図るうえで重要な課題であることから、国や道の施策の展開に注視し、またエネルギーの種別ごとの特性や課題を見極めながら、地域活性化の観点も踏まえ、幅広く検討していく必要があると認識しているところでありま

## 手塚裕警議員



### エネルギー エネルギーの自給について

新エネルギー普及のビジョンは持っているか

効果検討を関係機関と進めているところである

**問** 手塚議員 道内では多くの市町村で、新エネルギーの導入普及のための基本方針や地域特性を活かしたテーマを設定した地域新エネルギービジョンを策定している。

日高管内においても新冠町、平取町、新ひだか町、日高町が既に策定済みとなっている。  
①当町のエネルギービジョンはどのようなものになっているか。

現在遊休地の活用に関する町の計画や民間企業からの町有地借用の申し入れはありません。

# 自治会 自治会活動推進補助金の創設について

## 問

自治会独自の防災対策に補助金を

## 答

独自防災対策の構築にあたっては十分検討する

## 問

手塚議員 自助、共助、公助といった「補完性の原則」を基準とし「多様な担い手」を基盤とした行政サービスを機能させるために自治会を中心とした意欲と能力を備えた多様な主体が、公共を担うことができない環境を整える必要がある。そこでその一環として、「自治会活動推進補助金」の創設を提案したい。

自治会等の要望の中には連合自治会等で対応できるものもあり、自治会自身が必要最小限の事業計画を作成することで迅速な対応や行政業務のスリム化が可能となり、さらには実情に応じたサービスの質的向上や町民意識の高揚、コミュニティの活性化、などが期待できる。

(自治会運営経費補助条例はあるが自治体側から積極的に

## 答

企画課長 まちづくりは総合計画にそって進めているところであり、自治会活動推進補助金の創設全般についてはこの場ではお答えできませんが、このうち、協働のまちづくりの推進に関わつての検討はさせていただきます。

また、防災関係に特化した自治会補助金も現段階では考えておりませんが、自治会が

独自の防災対策の構築を広く進めるにあたっては、町としても十分に検討していかねばならないと思っております。5年以上にわたって継続的に出されている要望は24件であり、その太宗をなすものが、国、道に対する要望です。

## 地域交通

### 問

追分峠の凍結路面对策は

### 答

融雪剤散布とともに十分注意して対応する

### 問

手塚議員 当町は交通死亡事故200橋付近の凍結路面对策は2500日達成を目指し、8月0日を達成し、8月0日となっているところであるが、残念ながら、重大事故が発生していません。今年1月に追分峠で発生した人身事故の現場は通行する町民の大半が、冬季節凍結の危険があると認識している場所である。運転になれた町民であっても肝を冷やすことがたびたびある。

### 答

建設水道課長 国道336号の管理を

局室蘭開発建設部浦河道路事務所にお聞きしたところ、伏見橋付近は周囲の地形上どう



自治会独自の防災対策が期待される

しても日陰になる部分があり融雪剤や砂などを散布しても路面が完全な乾燥状態にならなければ、凍結を防ぐのが難しいのが現状という事です。このことから浦河道路事務所では、今後も凍結路面对策には十分注意し対応していきたいとのことです。

町が認識している交通危険箇所は防雪対策として国道ではアベヤキ川付近、道道では岩崎の坂付近が考えられ、現在対策工事が実施されていますので、今後はその効果を注視していきたいと思えます。最後に国道、道道の現在要望中の箇所は凍結路面对策以外では国道の近浦笛舞地区に越波防止柵の設置を2か所要望中でございます。



冬場は日当たりが悪く、凍結の危険がある上歌別の伏見橋付近へ向かう道

# 石川昭彦議員



## 育児

### 子育て支援策について

支給額に差をつけるべきでは

当面は一律だが意見を伺いながら検討する

**問** 石川議員 町が新年度に予定している「すこやか赤ちゃん誕生祝金」の支給方法について質問をいたします。

**答** 町の計画では一律3万円としておりますが、私は第一子二子三子と金額を増やすほうが良いと思っておりますが一律にした理由は何か。

**答** 町民生活課長 人口減少が続く中で出産や育児に対する親御さんの負担を軽減をする、お祝い金としてどの子にも等しくその誕生をお祝いしようとの思いから様々検討した結果、一律の支給をいたしました。

**問** 石川議員 人口減少を少しでも止めたい。一人でも多く赤

## 産業振興

### 昆布干場のエゾシカ 侵入防止策について

昆布干場にもエゾシカ対策を

現場検証などをしたうえで対策を考える

**問** 石川議員 海産干場にもエゾシカが出没するため侵入を防ぐために農地に設置された電気柵を補助事業で干場にも導入できないか。

**答** 産業振興課長 昆布干場にエゾシカが出没し、その管理・対策に漁業者が苦悩されているという状況はわかりますが、それによる被害の確定が難しく事業として実施することは難しいと考えております。

**問** 石川議員 食品を加工する場所に自然動物が出入りするのと自体が被害であると認識すべきと思う。

**答** 産業振興課長 当面はシカ柵の管理と有害駆除の強化に努めて参りたい。

## 診療所

### 診療所駐車場の突風について

診療所玄関前の突風対策を

景観や交通安全上の問題で実現に至っていない

**問** 石川議員 町の診療所駐車場が突風のために危険であると指摘が多数の町民からされている。診療所は病気やケガで体の弱っている方が集まる場所である。そういう所が他の場所より危険であるというのは許されなければならない。早急に対策をすべきである。

**答** 診療所事務長 強風対策として防風柵の設置について検討した事もあるが周辺の景観



海辺に出没するエゾシカ



強風が吹きつける町診療所玄関前



# 高松亮裕議員



## 観光

### 百人浜オートキャンプ場の

### 利用状況について

#### 問

利用者増のため効果的な広告宣伝を

#### 答

限られた予算ではあるが情報発信に努めたい

#### 問

高松議員 百人浜オートキャンプ場の利用状況をみると、平成14年収入280万円で利用者数3200人、平成24年収入100万円で利用者数1500人。

#### 答

この10年間に収入は約3分の1、利用者数は約2分の1に減っております。この間、委託料は600万円とほぼ変わっておりません。そこで、①情報発信はどのようなにしているか。②利用者が減ってきた原因は何か。③利用者を増やすためにどのような対応をしてきたのか、また、今後どのような措置を講じなければならぬと考えるか。④委託料の減額はできないか。

以上、4点についてお答え願います。

産業振興課長  
①バス時刻表への広告、ガイドブックやホームページで広く紹介しています。また、パンフレットをさまざまな施設、イベントで配布してPRをしています。  
②えりも町自体への観光客数が大きく減少したことにより、キャンプ場利用者も減少したと考えられます。近年は、旅行形態の多様化の中で、道の駅や設備の整ったリゾート的なキャンプ場や娯楽施設のあるキャンプ場が好まれる傾向にあります。  
③限られた予算の中で、今まで以上に利用者を増やすための情報発信をしていくと、同時に、利用していただいた方が満足できるキャンプ場にしていきたい。

④キャンプ場の管理は、ひだか南森林組合に委託しております。利用者が減少してもかかる経費は変わらないことから減額は難しいと考えます。

高松議員 ガイドブックでは、紙面が限られていますし、ホームページでは利用する側が知りたい情報が掲載されていません。百人浜オートキャンプ場での楽しみ方など、利用者の立場に立った発想で、わかりやすく、丁寧



利用客が減っている百人浜オートキャンプ場

## 教育

### いじめアンケート調査の公表について

#### 問

ホームページでいじめアンケートの公表を

#### 答

チラシ等での町民への周知にとどめる

高松議員 教育長

#### 問

の行政執行方針では、「児童生徒の教育は、学校だけでなく、家庭を含めた地域ぐるみで進めなければならぬ」「学校教育の基盤である保護者や地域住民との信頼関係の大前提となるのは、学校としての責務を確実に果たすことである」と述べております。

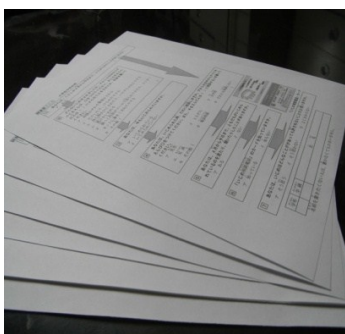
このような方針を实のあるものにするために、いじめアンケート調査をえりも町ホームページで公表することを提案いたします。このことが、学校や教育委員会の閉鎖性の解消、保護者や地域住民との密な連携につながるのと同時に、現場の教員の負担軽減にも貢献するものと考えますが、いかがお考えか。

#### 答

教育長 いじめ調査については、児童生徒から上がってきた内容を各学校が、関係する保護者に伝えるよう指導するとともに、学校だよりや参観日等を通して公表するよう指導しております。

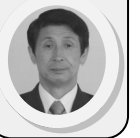
また、「開かれた教育委員会」、「家庭・地域との協力による教育の推進」という観点から、25年度は、いじめ等の調査については、一般町民にも慎重に吟味しながら公表していきたい。

しかし、ホームページでの公表は、不特定多数の目にさらされ、危険であることも考慮し、現段階では、信頼する町民への周知という範囲内で、町の広報配布の機会を利用し、チラシで「教育委員会だより」として私が発行してまいりたいと考えております。



道教委が実施するいじめアンケート

# 大坂庄吉議員



## 学校教育

### 体罰の現状について

**問** 町内において体罰の実態はあるか

**答** 現在調査中であるので後日結果を報告する

**問** 大坂議員 体罰は学校教育法11条ではできないと規定される違法な行為であります。町内の小中高校において校内暴力また、教師による体罰といったことはあるのかないのかその実態について伺います。

切について3月末までを調査期間として実施し、その結果を道教委に報告する事



部活等で問題になる体罰と指導の境界線

## 学校教育 部活の備品楽器について

**問** 中学校の楽器の更新を

**答** 平成25年度は楽器修繕に係る予算編成を行った

**答** 学校教育課長 道内すべての小中学校高等学校等を対象に体罰に係る調査が進められている。4月から25年1月まで第一次調査は、体罰により懲戒処分を受けた教職員はいるかというものであります。町は該当者なし。

**問** 大坂議員 教育する場において20年から30年も経過している不備な楽器で指導にあたらなければならないことは極めて遺憾だと思います。早くに解決していただきたく考えますが、見解をお伺いいたします。

動など、町民から高い評価をいただいていること。教育課程の音楽教具と合わせて検討する中で平成25年度の予算編成に際し、楽器に係る修繕費を別枠として予算編成したところであり理解願いたい。

## 学校教育 不登校等の予防について

**問** 不登校対策は万全か

**答** いじめとあわせ状況把握の徹底に努めている

**問** 大坂議員 不登校の大きな理由であるといわれますが、いじめのほかにも本人、家庭、学校の問題があります。理由はいずれかにも、また複合したものであると思われ。何事にも現象が出てから対応するのは遅いのであって事前の予防することが最善の策であります。教育委員会としては不登校対策としてどのようなことを考え学校を指導しておられるかお伺いいたします。

三つは毎月連続して名前があがっている者については詳細に聞き取りを行って本人保護者等への対応についても指導する。

いじめの取り組みの成果と課題、いじめの把握の為にアンケート調査、いじめの問題への対応取り組み状況の調査で、4月から11月までに認知した件数は、小学校7件、中学校7件、高校2件の計16件の事案も、12月には全てが解消と判断され極めて重大ないじめ現象を防ぐことに繋がっており成果と考えております。

**答** 教育長 一つは毎月児童生徒が1週以上欠席した者について児童生徒月末報告書としてその翌月の5日までに報告。その中で30日以上連続欠席している者は日高教育局に報告する。

二つは教育局指導主事訪問時における協議において状況を把握し対応している。地域がそれぞれの役割を自覚し学びの環境づくりをどう構築していくかであると



各種イベント時にも活躍する吹奏楽部

**答** 学校教育課長 中学校吹奏楽部は町内の行事への出演や町民吹奏楽団と共同した活

第二次調査は各学校の教職員、児童生徒及び保護者に対し記名式のアンケート調査をするもの。これら一

## 第2回議会報告会

## 議員と語る会

4月22日から4月27日にかけて町内9会場におきまして議会報告会「議員と語る会」を開催いたしました。

予算の概要と主な事業を中心に説明し町政全般にわたって意見交換がなされました。少人数ながらも、参加した住民から要望が数多く出されたことは、我々が目的としたものに近づくことができたと考えます。今後は参加をどのように求めるかが課題です。今回いただいた貴重なご意見は今後の議会活動に反映させてまいりたいと思います。触れ合いを大事に一体となった町づくりが進められるよう努力して参ります。

<b>本町</b> 4月22日 福祉センター老人室 2名 石川/大坂/笹谷 女性と語る会の開催 生活保護の審査の厳格化 老人ホームの増床 ゼニガタアザランの駆除	<b>大和</b> 4月23日 西えりも生活館 3名 石川/大坂/笹谷 下水道の普及状況はどうか 町事業の利用実績の開示 語る会の周知徹底を 議会広報を続けるのは大変では	<b>庶野</b> 4月24日 庶野生活館 4名 上野/平野/高松 個別受信機の設置 津波による流木の処理 税金の滞納と回収について
<b>近浦</b> 4月23日 近浦多目的集会施設 13名 成田/上野/平野/高松 津波による漂流物の処理 旧近浦・笛舞作業所の処分 近浦神社付近避難施設の整備 防波柵の設置 ニカンベツ川の河口整備 町営住宅の建設	<b>歌別</b> 4月26日 歌別生活館 2名 渡部/川村/手塚 海岸沿いの道路の防災対策 議会報告会は話しやすくて良い 町職員が挨拶しない 診療所入院患者への対応が悪い	<b>目黒</b> 4月25日 目黒生活館 4名 上野/平野/高松 目黒生活館の建替えの展望 備蓄品の一部配置替え 国道に豊似湖線通行止標識設置 学校林の無断伐採 高所避難場所へスロープ避難道 議会だよりの重要性
<b>笛舞</b> 4月25日 笛舞ふれあい館 5名 渡部/川村/手塚 林道の整備を行ってほしい 自宅介護者に補助金を支給 消防番屋の早期移設 エゾシカが減っていない 浜防風保護するのなら計画的に 校長宅の改修を行ってほしい 旧教頭宅を貸し出してほしい 議会だよりの写真は良い	<b>えりも岬</b> 4月24日 林業総合センター 4名 石川/大坂/手塚 観光にもっと力を入れるべきだ なべ大会後の展開がなさすぎ 税金滞納の解消は進んでいるか 漁業後継者不足の解消施策を 余っている毛布を集め備蓄を 独居老人、障害者の情報を 町議の補欠選挙は必要か 今回はテーマを決めて論議を	<b>東洋</b> 4月27日 東洋生活館 2名 渡部/川村/手塚 浜防風の採取は禁止なのか 看護師奨学金の周知促進 海外実践研修の渡航先検討 複合施設計画の町民会議化 防波対策の他に高台移転策も 学校統廃合より人口増加政策を 新エネルギー開発を進めるべき

この人に聞く

国保診療所所長

医師 渡邊 覚文さん

あきふみ



昭和44年4月14日埼玉  
県飯能市生まれ。

防衛医大卒業後、研修医を経て帯広第5師団(当時)勤務。その後外科医として勤務したのち米軍留学、イラク派遣を経て除隊。民間病院に勤務後えりも町へ。妻と子供2人。趣味旅行。

高松 医師になったきっかけは？  
渡邊 中2の時、母がガンになったことがきっかけです。

高松 なぜ、えりも町で勤務を？  
渡邊 自衛隊除隊後、一時、千葉の民間病院に勤務していましたが、自分が目指す医療は、前線医療、つまり地域医療であると、大好きな北海道を選びました。

高松 えりもに来る前は、どんな仕事を？  
渡邊 自衛隊で最前線の隊員にもしつかりとした医療をしてあげたいと、米軍にも1年間留学するなど、前線医療の専門家として活動していました。イラクにも派遣されたことがありますし、隊員と共にパラシュート降下したこともあります。

高松 町民の第一印象は？  
渡邊 えりも町の人費の削減にもつながります。そのため、私も努力しますので、町民の皆様にも自身の健康にもっと気をつけて下さい。

高松 町民の第一印象は？  
渡邊 えりも町の人費の削減にもつながります。そのため、私も努力しますので、町民の皆様にも自身の健康にもっと気をつけて下さい。

高松 町民の第一印象は？  
渡邊 えりも町の人費の削減にもつながります。そのため、私も努力しますので、町民の皆様にも自身の健康にもっと気をつけて下さい。

編集後記

ようやく桜の花も咲き始めえりも町の一番活気ある季節を迎えようとしております。

さて、昨年度から開催の第2回「議員と語る会」も無事終了することができました。地域の様々な問題、町への要望がなかなか実現されないこと、誠実に対応してくれないこと等々、多くの意見を聴かせていただきました。

また議員に対しても、地域の要望を把握していないとお叱りを受け、「議員と語る会」を開催することが目的ではなく、その後の解決に向けた「町と町民の橋渡し役」となることが最も重要な目的であるとあらためて教えられました。膝を交えて語ることは大事なことで、多くの町民の皆様が参加したいと思ってくれるような「議員と語る会」にするよう今後とも努力をしてまいります。(高松)

議会の動き

- 2月7日 日高地区交通災害 共済組合議会定例会
- 3月4日 議会運営委員会
- 3月6日 全員協議会
- 3月6日 第5回定例会  
～3月15日
- 3月14日 予算特別委員会  
～3月15日
- 3月15日 議会広報特別委員会
- 3月21日 日高東部消防組合議会  
日高東部衛生組合議会
- 4月6日 議会広報特別委員会
- 4月8日 議会勉強会
- 4月22日 第1回臨時会
- 4月22日 議員と語る会  
～4月27日
- 4月27日 議会広報特別委員会

防災無線聞こえますか？

防災情報が携帯電話にメールで届くようになりました！

登録はQRコードにアクセス。または下記アドレスに空メールを送信してください。  
t-erimo@sg-m.jp



議会広報特別委員会委員

委員長 石川昭彦  
副委員長 高松亮裕

委員 大塚裕喜  
委員 高松亮裕